



2023年 5月 29日

# たてくろジオパーク だより

第 58 号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町 5-5 タワー1 11ビル1階  
MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/

TEL: 076-431-2089 FAX: 076-482-3204  
f https://facebook.com/tatekuro

## お知らせ

### 6月3日（土）一般社団法人立山黒部ジオパーク協会 定時総会

会員メールでお知らせしました通り、6月3日（土）に、令和5年度一般社団法人立山黒部ジオパーク協会の定時総会並びに講演会を入善町で開催いたします。令和4年度の事業・会計報告、並びに令和5年度の事業・予算案についてのご報告とともに、第三期基本計画を提案させていただきます。ご多用のこととは存じますが、ご出席をお願いいたします。

- ・日時 令和5年6月3日（土）  
総会 14:00～14:50  
講演会 15:00～16:15  
演題 ジオパークが地域にもたらしたもの  
— 活火山の島のジオガイドの目線 —  
講師 日本ジオツーリズム協会 副会長  
グローバルネイチャークラブ ガイド  
伊豆大島ジオパークジオガイドの会副会長  
西谷 香奈氏

- ・場所 入善まちなか交流施設うおい館2階 イベントホール  
入善町入膳 5232-5 TEL 0765-72-0123  
出欠の連絡につきましては、メールまたはファックス、電話にてお願いします。



5/1 支援自治体会議 幹事会

講師の西谷香奈さんは、ダイビングガイドや陸のネイチャーガイドを経て、現在はジオガイドとしてご活躍されています。火山や太平洋など伊豆大島の素晴らしい自然に関するお話を聞けるのがとても楽しみです。講演終了後には、立山黒部 GP のジオガイドさんたちと交流会を開く予定です。どうぞ、お楽しみに！

\*5月1日に県東部9市町村担当者による立山黒部ジオパーク支援自治体会議幹事会、10日には自治体首長の出席による同会議総会がzoomで行なわれ、ジオパークの認知度アップと活用に向け引き続き支援が決まりました。

## 7月のジオパーク散歩

募集中



第6回 [常願寺川（上滝周辺）ジオパーク散歩]  
〈先人たちの治水の歴史・文化と地形を学びましょう！〉

- ・日時 7月1日（土） 9:45～12:00
- ・集合場所 上滝東町・東新町公民館駐車場（受付 9:15～）
- ・見学場所 小水力発電所～ささやき橋～佐々堤～太田閘門～砂防施設～常西神社～大川寺周辺の文化財～水車発電～公民館駐車場
- ・申込期限 6月28日（水）

第7回 [美女平ジオパーク散歩]  
〈巨木の森を歩いてみよう！〉

- ・日時 7月6日（木） 10:00～12:30
- ・集合場所 美女平駅（受付 9:30～）
- ・見学場所 タテヤマスギの巨木の森、美女平を歩いて、いろいろな形の木に出会ったり、さまざまな地球の営みについても考えてみよう！
- ・申込期限 7月3日（月）

6月のジオパーク散歩はまだまだ参加者募集中です！ぜひ参加してジオやエコを楽しみましょう



立山黒部ジオパーク  
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



## 5/6 宇奈月温泉ジオパーク散歩

5月6日（土）に宇奈月温泉ジオパーク散歩を行いました。大型連休中ということもあり、宇奈月温泉街には観光客と思われる方が多く歩いていました。

参加者はうなジオに集合した後、宇奈月温泉駅前広場の温泉噴水を見学しました。担当の吉井一美ジオガイドから宇奈月温泉街の歴史を学んだあと、総湯「湯めどころ宇奈月」に向かいました。総湯では、宇奈月温泉開湯 100 周年事業実行委員会の河田委員長から、100 周年を迎えるにあたり温泉街の取組などを教わりました。

その後、おもかげ通り、黒部川電気記念館、旧山彦橋、宇奈月神社を見学しました。旧山彦橋では、通過するトロッコ電車に向けて手を振ったり、写真撮影を行ったりしていました。文中にも触れましたが、宇奈月温泉は開湯 100 周年を迎えました。年間を通して 100 以上のイベントやタイアップ事業を行うとのこと。トロッコ電車も櫛平まで全線開通いたしました。この機会に、宇奈月温泉に足を運んでみてはいかがでしょうか。



## 5/17 ジオガイド スキルアップ研修（講演）

5月17日（水）に黒部川扇状地研究所の水嶋所長をお招きして黒部市生涯学習文化スクエア「ぷらっと」でジオガイドスキルアップ研修を行いました。水嶋所長には、豊富な資料を基に「黒部川扇状地の地形・水環境から水の価値と役割を考える」というテーマで講演していただきました。扇状地は急傾斜扇状地と緩傾斜扇状地に分けられ、黒部川扇状地は緩傾斜扇状地に分類されること、黒部川扇状地は典型的な臨海型扇状地であること、形や大きさと併せて日本では稀な扇状地であること等地形に関する学びがありました。また、暴れ川といわれる黒部川の治水や豊富な水資源活用を人々がどのように取り組んできたかの歴史や黒部川の地下水がもたらしている沢スギ等の自然について学ぶことができました。加えて、地球や地域社会の持続発展のためには、水や水環境の維持が重要であり SDG s 17 項目解決の基本となることも示されました。様々な視点からの学びのある研修になりました。



真剣に聞き入る出席者

## 5/20 ジオガイド スキルアップ研修（実地研修）

4月12日（水）に実施したジオガイドスキルアップ研修（講演）をもとに、5月20日（土）に上市町の稲村露頭で実地研修を開催しました。講師の金子一夫先生は、「今日は、難しい話をしますよ」と言われて現地研修を始められました。稲村スランプ構造の基本的な解説の後、昨年から進めてこられた研究で新たに分かったことや、これから解明しようとされていることを解説していただきました。





## 5/18 サイトモニタリングを開始しました！

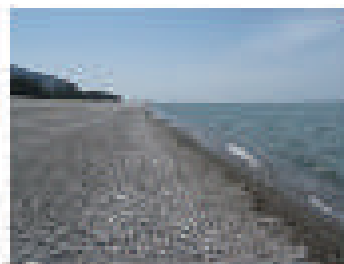
昨年3月に保全活用計画を策定して以来、懸案だったサイトモニタリングを開始しました。サイトモニタリングは、立山黒部ジオパーク内にあるサイト（ジオサイト43カ所、自然サイト26カ所、文化サイト40カ所）の保全を図るため、定期的に巡回することです。当ジオパーク内には、山岳地帯や海底があるため、巡回が困難なサイトがありますが、「まずはできることから始めよう！」と考えて、サイトモニタリングを開始しました。今回は、朝日町と入善町のサイトを巡回しました。「境一里塚」「境関所跡」「ヒスイ海岸」「宮崎鹿島樹叢」「宮崎城跡」「不動堂遺跡」「下山芸術の森発電所美術館」「墓ノ木水神社」の8カ所を巡回しました。今回巡回したサイトは、町内会や自治体、管理団体等によってよく整備されており、案内看板、解説看板がきちんと設置されていました。



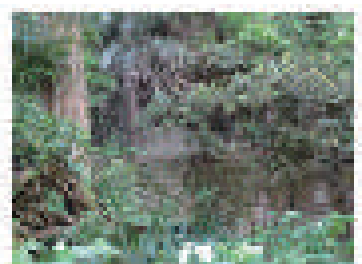
境一里塚



境関所跡



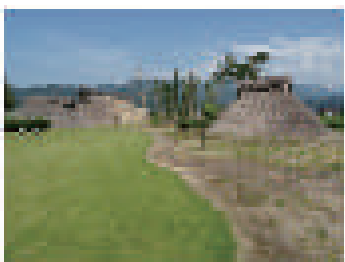
ヒスイ海岸



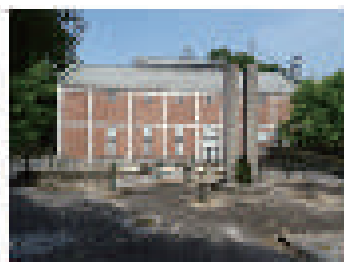
宮崎鹿島樹叢



宮崎城跡



不動堂遺跡



下山芸術の森発電所美術館

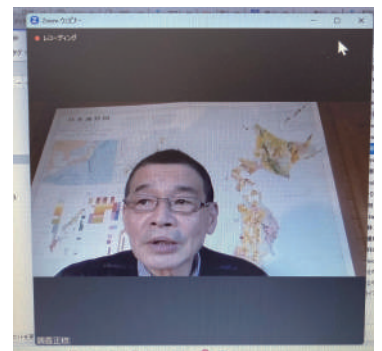


墓ノ木水神社

## 5/11 景観生態学連続セミナー

日本景観生態学会企画交流委員会企画景観生態学連続セミナー「ジオパーク × 景観生態学の可能性」が5月11日（木）にzoom開催で行われました。セミナーのはじめに、奈良大学社会科教育講座 河本大地 准教授から今回のテーマに関する解説があり、次に話題提供として、立山黒部ジオパーク協会 國香正稔 研究教育部会長が「立山黒部ジオパークと魚津埋没林での取組」と題して、講演しました。講演の中で、昨年制作し、埋もれ木サミットで公開した動画「Fossil Forest 森の化石」の上映を通して、立山黒部ジオパークの理念と活動を紹介しました。

視聴された参加者からは、「貴重な発表ありがとうございました。ジオパークの取り組み動向を知ることができました。」「世代を受け継いで、この内容を伝えていく重要さや、将来まで守っていかなければならない場所が沢山あることを知ることができました。」「魚津のジオパークへ行ってみたいと思いました。」等の感想が寄せられました。



**立山黒部ジオパーク**  
**TATEYAMA KUROBE GEOPARK**



## 5/22 中新川郡中学校教育研究会理科部会

5月22日（月）中新川郡中学校教育研究会理科部会の現地研修に当協会事務局上田専門員が講師として参加し、釈泉寺露頭、釈泉寺円筒分水槽、稲村露頭を解説しました。小雨が降り続く中、中学校理科の先生方は、解説を熱心に聞き、観察されていました。釈泉寺露頭では、日本海が広がる過程の約1600万年前に、激しい火山活動によって堆積した凝灰角礫岩の角張った粒子を手で触り、飛騨山脈の隆起にともなって南側に傾斜している様子を観察されていました。円筒分水槽では、サイフォンの原理で分水していることや右岸に0.49、左岸に0.51という正確な分水比で分水していることにとても興味を持たれていました。そして、稲村露頭では、勤務校の近くにこんなに壮大でスランプ構造という不思議なメカニズムをもった露頭があることにとても感銘を受けておられました。



## ■ たてくろ 見どころ紹介コーナー

### 境一里塚 旅人の安全を願う一里塚（朝日町：朝日エリア）

富山・新潟県境の境川にかかる国道8号線境橋の富山側に、榎などが繁る高さ約3mの小さな塚があります。慶長9(1604)年、徳川幕府の命により、江戸日本橋を起点に、東海道・北陸道などの主要五街道には、一里(約4km)ごとに里程標の役割を果たす一里塚が築られました。

境の塚は、加賀藩領最東端の一里塚で、5間(約9m)四方の規模に盛土して、榎が植えられていました。この塚にたどり着いた旅人は、歩いてきた道のりを計り、旅程の目安にするとともに、難所の親知らず海岸を越えてきた旅人は、その木陰で疲れを癒し、これから難所に向かう旅人は、この先の苦難を乗り越える心がまえをしたことでしょう。現在も、境一里塚は県境を越えて走る多くの自動車の交通安全を見守っています。

境一里塚は、立山黒部ジオパークの文化サイトに登録されています。



<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=71>



### <編集後記>

春は三寒四温のため、暖かい日が1日多い分だけ少しずつ春が深まっていくので、立山連峰の雪融けも進んできています。最近、劔岳の池ノ谷氷河がはっきりと見えるようになってきました。池ノ谷氷河は立山黒部ジオパーク内に5カ所ある氷河のうちで唯一平野部から見える氷河です。天気の良い弱い南風が吹く日は美しい姿を見せてくれます。特に、午後は日光がよく当たり、池ノ谷氷河が見える場所からの劔岳の眺望は最高です！

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援してくださる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会（076-431-2089）までお問い合わせください。



**立山黒部ジオパーク**  
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

